

渡邊政之輔 熱心な労働運動家。明治二十二年九月七日千葉縣市川町  
 根本生れ、昭和二年十月六日歿（一八九一—一九六）。筆名内田廣、山名正  
 照。小學校を了して東京日本橋の酒店に五年間奉公。大正五年學業上  
 京、翌年龜戸の千代田工業會社に入る。八年新人會に出入りし始め、  
 爾來新人セルロイド工組合、聖徳労働組合、南葛労働協會等を順次組  
 織して運動に邁進。十二年編輯發行印刷名義人となつた總同盟系労働  
 運動家發起の『労働組合』を創刊。また第一次共產黨事件の檢舉に連  
 坐、收監半年後の暮に保釋。翌年東京東部合同労働組合を組織し、積  
 年の同志井野セツと結婚。十四年日本労働組合評議會幹事、翌年日本  
 共產黨中央委員となる。昭和二年訪ソしてレーゼ作戦に參與。翌年上  
 海への黨務の歸途、臺灣の基隆港で陸檢の警官に射殺して追跡の官憲  
 に遺された。

著書に、『少數派運動の使命』（大正十五年刊）、歿後『左翼労働組合  
 の組織と政策』（昭和五年十月）『二十日希世閣』（が譯められた。他に、  
 『渡邊政之輔著作集』（昭和二十七年十一月）『日本共產黨中央委員  
 会出版部』がある。



渡邊政之輔著作集 党創立四十周年記念出版

左翼労働組合の組織と政策 渡邊政之輔著

★

渡邊政之輔著

左翼労働組合の組織と政策